

## 【長崎サポステ】

## 「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第2ステージ】

取組年度	令和5年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第1ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
	KPI項目	目標値
第2ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	各年度4回 (長崎・佐世保で各年度2回)

## 【令和5年度取組状況等】

就職氷河期の時期に学校を卒業し、望まない雇用形態で働くことになったり、様々な理由からニート状態や引きこもり状態になったり、仕事を転々とせざるを得なくなった若者の支援は、気持ちに寄り添った面談や、コミュニケーショントレーニングや各種セミナーといったグループワークの実施を行っているが、

その後、自己肯定感や自己有用感を醸成し、就労への意欲が高まった若者に対しては、職場体験が効果的だと考え、積極的な職場体験の実施を行った。

職場体験先はサポートステーション事業の説明を丁寧に行い、人材確保という観点よりも、「福祉以上、一般就労未満」の若者を育てる社会貢献だと思って受け入れてほしい、という主旨で開拓を行い、

現在、長崎サポステ管轄地域で新たに22件の開拓を行った（合計52件）

その上で、2023年11月現在で35件の職場体験を実施している。

なお、就職氷河期世代は、生活困窮者自立支援事業の対象者の家庭に多いのではないかと考え、県内の生活困窮者自立支援事業の受託団体（社会福祉協議会等）と連携し「職場体験ネットワーク協議会」を作り、職場体験先の共有活用を行っている。

また、ハローワークに相談に来られる方の中には、意欲はあるものの、就労支援のみでは就職が困難と見立てられる就職氷河期世代等の利用者が多いと考え、これまでに2回、ハローワークスタッフの方にサポステに来所いただき、直接サポステを見て、支援内容の説明を行っている。

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	43件	143.3%
職場体験等の実施件数	44件	275.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	1回	12.5%

※令和5年11月末時点の実績（令和5年度累積）

## 【参考】令和5年5月末時点実績

サポステ等による職場体験等先の確保数	9件	30.0%
職場体験等の実施件数	10件	62.5%
サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	0回	0.0%